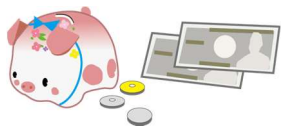


生命保険料控除

この時期になると、みなさんが加入されている各生命保険会社から「生命保険料控除のお知らせ」が届いていると思います。

とても重要な書類で
年末調整や確定申告に
使うことで、



所得税・住民税を軽減することができます。

そして保険会社によっては、加入されている保険商品の契約内容を説明している「ご契約内容のお知らせ」も同封されています。

当店では生命保険料控除欄への記入方法のアドバイスはもちろん、

加入されている保険が
ご要望にマッチしているか、
再度契約内容確認も
させていただきます。



ぜひこの機会に「生命保険料控除のお知らせ」もしくは「保険証券」をお持ちいただき、再度内容の確認や節税対策などお気軽にご相談ください。

FP保険通信

NO. 42 2018. 10 発行

2050年には およそ 5人に2人が高齢者！

超高齢化社会が待ち構えているなかで、将来の年金不安から、個人個人が公的年金の上乗せ貯蓄を考えておかなければ、大変困ったこととなります。

最近では国が推進しているiDeCo（イデコ）の名前をよく耳にされると思います。

iDeCo（イデコ）には、積立金額すべて「所得控除」の対象というメリットがありますが、原則60歳になるまでは、途中で引き出しできないという点に注意が必要です。

他にも、**変額保険**や**外貨保険**を利用してこれからの将来に向けた資産形成をしていく方法もあります。



保険商品ですので、運用機能だけでなく万が一の死亡保障があり、また一定期間を経過すれば途中引き出しができるため、大変有効な貯蓄性商品のひとつといえると思います。

当店では、資産形成や資産運用等のご相談も受け付けております。この機会に未来にむけてコツコツ始めてみませんか！

自然災害に 備える保険

今年は近畿でも台風の大きな被害がありました。気候変動により熱帯低気圧(台風)の発生は今後も増えていくと思われますし、台風の大型化などによる自然災害も懸念されます。

台風や豪雨による水災事故への備えるには？

-火災保険 -

例)・集中豪雨により河川が氾濫し床上浸水
・土砂崩れにより家屋が倒壊
・台風の強風により屋根瓦が飛ばされ破損
など
(ご契約プランにより補償の対象に違いがあります)

-自動車保険 -

車両保険を付帯していれば、台風・竜巻・高潮・洪水によるご契約車両の被害は補償されます。

ただし、火災・自動車保険共に地震・噴火・津波による被害については、別途特約等で保障を付加する必要がありますので注意が必要です。自然災害はいつ発生するかわかりません。まずは現在のご契約内容をしっかり確認してみましょう。



FP保険の相談所

垂水駅前店 078-862-8451 西神戸店 078-921-7701

営業時間：10：00～19：00 営業時間：9：30～17：30

定休日：水・日 定休日：土・日・祝

ホームページ：右のQRコードから または

ライブプロモーションで検索



〈取扱保険会社〉 メットライフ生命

アクサ生命 オリックス生命 アフラック

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命 FWD富士生命

三井住友海上あいおい生命 東京海上日動あんしん生命

ジブラルタ生命 NN生命 三井住友海上火災 ソニー損保